

令和5年度府中市立第三小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①既習の内容を振り返ったり、見通しをもったりして、新たな学習に取り組むことが不慣れである。
- ②算数科の学習において、友達と学び合うことに楽しさを見いだしている児童が少なく、学年間の差も大きい。
- ③自分が努力すべきことを具体的に決めないまま、学習や生活、行事等に取り組んでいる子が見られる。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①児童が自発的にノートを見返したり、解決方法を発想したりするような発問・問い返しが少ない。
- ②知識・技能の習得を重視してしまい、互いの考えを比較したり、関連付けたりする機会が少ない。
- ③具体的な行動まで目標を設定できておらず、振り返りが不十分。個人や学級の目標・目的が明確でないまま行事等の指導に臨んでしまっている。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- すすんで学ぶ子
既習の内容や友達の考えのつながりに価値を見だし、進んで問題解決に取り組む。
- 思いやりのある子
相手の思いに寄り添い、心を通わせて支え合う。
- ねばり強い子
最後までやり通し、自分の役割や責任を果たす。

(2) 目指す授業像

- 思考を揺さぶり、問題意識を高める発問の工夫
- 自分や友達の考えを確実に記録し、次の問題解決に役立つノート作り
- 全員参加を目指し、悩んでいる子の思いに寄り添い、助け合いながら学び合う集団づくり
- 児童の主体性・自主性を尊重し、目的感と実践を重視した特別活動の充実（縦割り班活動も含む）

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	文にサイドラインを引いたり、キーワードに印をつけたりして、文章を構造的に読み取り、正しく内容を捉える機会を増やす。	音楽	表現の工夫を考える場を設定し、どう表現したいか考えたり、その工夫を試したりできるようにする。
算数	既習の内容と関連付けて解決の方法を考えたり、友達の考えとのつながりを見付け、統合的・発展的に考えたりする機会を増やす。	図画工作	興味関心がわき、自由な発想や表現の楽しさを味わえるような題材を提示していく。
社会	資料から読み取れる事実を全体で共有したうえで、学習問題に即してその事実から考えられることを文章表現する機会を増やす。	家庭	授業中の体験活動を増やす。家庭で実践する課題を出し、生活技能の習得・向上につなげる。
理科	観察・実験結果を全体で共有したうえで、学習問題に即してその事実から考えられることを絵や図も合わせて文章表現する機会を増やす。	体育	どの児童も達成感が得られるように、場や感覚づくりの運動を工夫したり、友達と相互に協力し合ったりする機会を増やす。
生活	めあてを意識させ、体験活動と表現活動を相互に行い交流を図りながら、気付きの質を高めていく。	外国語	ICTや視覚的な教材を用いて、耳で聞いたものを目で見ることによって英単語の意味や発音、キーフレーズの理解を深めていく。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- 意見を交流する場面や必要な情報を収集する場面でタブレットを活用し、学習活動を充実させる。
- eライブラリ等を用いて、自分のペースでじっくり復習する機会を増やし、既習事項の定着を図る。